

## 福岡の各市場にて種子屋久農協花き振興会販促



種子屋久農協花き振興会では、4月8日から9日にかけて、九州内の主要出荷先市場である福岡花市場、北九州花市場、久留米花卉の3市場を訪問し、販促や販売情勢の確認、意見交換を行いました。

4月に入り、卒業・入学や歓送迎会などの需要もひと段落した中で、暖冬による前進化もあり切花の相場はやや厳しい状況が続いていますが、種子島から出荷されるレザーリーフファンや、フェニックスロベニーといった葉物類は不足感もあり引き合いが強い状況です。今後は、母の日向けに大きな需要がありますが、レザーリーフファンの品薄は当面続く見通しであり、引き続き強い引き合いが期待されます。

片板一郎花き振興会長からは、種子島レザーリーフファンがG I登録されたことを報告し、これを機に改めてブランド産地として産地振興に努めることを話しました。

久留米花き市場の園田次長より「種子島のレザーリーフファンへの信頼は抜群であり、入荷するとセリにかかる間もなく売れてしまう。これは一方で不足感の表れでもあり、足りない結果、他の花材で手当てしてしまうことが恒常化するとレザーリーフファン離れにもつながってしまう。1本でも多くの出荷につながるよう産地でも取り組みをして欲しい」と要望されました。

また、福岡花市場では、セリの前に大坪浩明指導員が生産者を紹介した後、買参人へ日頃の高い評価へのお礼と今後の需要期に向け引き続き高品質な花きをきちんと出荷するとあいさつしました。買参人からは大きな拍手が起こりました。

